

スポーツアナリスト育成に向けた取り組みにおける成果と課題

データスタジアム株式会社 久永 啓

1. はじめに

近年のスポーツアナリティクス分野において、ICT／データの利活用は非常に活発化している。特に、最新テクノロジーを用いたデータ収集方法の発展スピードは著しい。その一方で、スポーツ現場では、選手やチームの課題解決に対して ICT／データを十分に活用し、大きな成長へと繋げることのできる人材が不足しているのが現状である。今後のスポーツ界の発展のためには、スポーツアナリティクスのさらなる進化は不可欠であり、この分野の専門スキルを持ったスタッフの存在価値は非常に大きいと言える。そういった意味で、スポーツアナリスト育成の取り組みには大きな意義がある。

2. スポーツアナリスト育成講座の開催

上記のような背景のもと、スポーツの分析現場で活躍できるスポーツアナリストの育成を目指すべく、独自のリソース（データ、分析ツール、ナレッジ）を活用した弊社主催の「スポーツアナリスト育成講座」を2017年5月～7月に開催した。まずは第1弾として、現在の日本サッカー界でスポーツアナリストの役割の一部を担う「テクニカルスタッフ」と呼ばれるスタッフのスキルについて、Jリーグクラブでの現場経験者を講師に、「サッカーにはどのような分析が必要か」「チームを勝利に導くためにはどのようなスキルを身につけるべきか」という点にフォーカスし、実践を通じて学ぶ形式で全6回の講座を実施した。

3. 成果と課題

本講座では、スポーツアナリティクスに関する人材育成において、体系化された形でそのスキルを学ぶ機会が提供された点が大きな成果だと言える。具体的に今回は、「サッカー分析力」「表現／伝達力」「コミュニケーション能力」「現場対応力」が中心となったが、今後ますます求められるであろう「ICT／データリテラシー」「データ収集力」「ICT／データ活用スキル」等について、その重要度が再認識されたことも大きな成果である。

一方で、より高度なアナリティクスのスキルをいかに身につけるか、もしくは、すでにそのスキルを有する人材や組織とどうやって連携するか、そしてそれを実際のスポーツ現場にどう活用していくかということは、今後取り組んでいかなければならない大きな課題として挙げられる。

本発表では、スポーツアナリスト育成講座から得られた具体的な知見の共有を行い、それを基にしながら、今後のスポーツアナリティクスの発展に向けた取り組みの方向性を探っていくこととする。